

いじめの根絶に向けて

Q 本市の学校におけるいじめの問題についての相談を受けている。私の方で具体的ないじめ問題について市の所管課とも話をしている。また、市内在住の方以外でも戸田公園駅で飛び降り自殺をした子供の相談もあった。市議会議員の最も大事な仕事は市の行政への監視チェックである。いじめの問題や体罰の問題は市の責任問題ともなり得るためなかなか自浄作用が働きづらい分野である。そういう意味で特にこのテーマは市議会議員が目を光らせて取り組まなければいけない。全国と本市におけるいじめの認知件数および今後のいじめ対策について伺う。

A 令和6年度は、全国で746,477件、本市で928件であり、増加傾向にある。本市ではいじめ未然防止に向けた指導の徹底についての通知を発出した。児童生徒へのアンケート調査と相談窓口の周知、校内体制の確認などを改めて行っている。また、いじめ根絶に向けた動画資料やメディア情報リテラシー教材を活用した授業を、市内全小中学校で実施した。早期発見・早期対応こそが肝要であり、今後も子供たちや保護者の思いに寄り添いながら、いじめ・暴力行為等の根絶に向けた取り組みの徹底を行う。

意見 仮に、周りの生徒で助けてくれる人がいない、担任も誰も助けてくれない場合、最後にこれを助けることができるのは我々議会であると考えている。なぜなら議会は市民の代弁者である議員で構成されている機関であるからである。市民が市民を守るといふこと。今後もこのテーマは扱っていきたい。



議会を傍聴してみませんか?!



議会傍聴案内

議会は誰でも傍聴することができます。
(事前予約不要)



《 傍 聴 の 流 れ 》

STEP 1

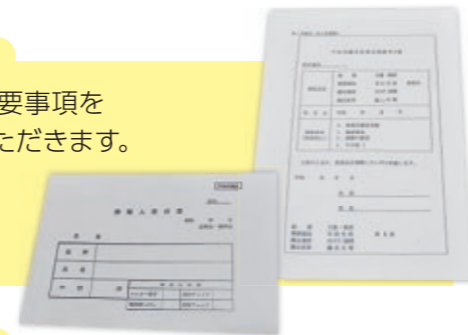
【本会議】
市役所8階傍聴受付にお越しください。



【委員会】
市役所6階議会事務局にお越しください。

STEP 2

受付簿に必要事項を記載していただきます。



STEP 3

傍聴の心得を守り、傍聴してください。
会議の途中でも入退場は可能です。

STEP 4

お帰りの際に、傍聴券を職員に返却してください。



その他

直接議場に来ることができない場合には、パソコンやスマホなどで視聴することもできます。



字幕用モニターを設置して、わかりやすい発信に努めています。



令和7年委員会年間活動成果

各委員会では、年間活動テーマや検討事項を定め、行政に対する政策提言・政策立案や議会改革を積極的に行っています。
ここでは、令和7年の各委員会の活動成果の概要をお伝えします。

過去のテーマなどはこちら



総務常任委員会 災害対応に向けた体制の整備について

災害への対応に向けては、地域が一体となって対策を進めることや、防災に関する人材を育成することが重要であると捉え、先進事例の調査・研究を行い「災害対応に向けた体制の整備についての提言書」を提出しました。提言では、体制の整備がなされるよう、地域防災体制の構築、防災士の資格取得強化と活動支援、地域の防災リーダーの設置・育成・活動促進、DXの活用、情報伝達手段の強化・多様化などの項目を提言しました。



文教・建設常任委員会 スマートシティの考え方で、さらに都市整備のデジタル化を

本市の都市整備では、既にデジタル技術の活用が進められていますが、スマートシティの考え方を取り入れることによって、さらにこの方向性を深め、効果的に推進するための方策について検討し、提言書を執行部に提出しました。提言内容は、①3D都市モデルを用いた交通・防犯・防災対策等のアップデート、②大型都市整備事業の実施時に市民の声を広く拾う仕組みづくり、③各部署の台帳情報のデジタル化・オープンデータ化、④データの整理・可視化による都市交通施策の高度化、⑤都市整備部内にデジタル戦略チームの設置を、の5点です。



健康福祉常任委員会 孤独・孤立対策について

単身高齢世帯の増加や転入に伴う子育て世帯の孤立など、都市部特有の課題が顕在化していることから「孤独・孤立対策についての提言書」を執行部に提出しました。高齢者対策では、①早期発見・アウトリーチの仕組みづくり、②官民連携・地域プラットフォームの構築、③個別支援・居場所づくり・見守り体制の支援について、妊産婦・子育て世帯対策では、①情報共有と相談体制の構築、②利用しやすいサービスの拡充、③制度の外の方への支援体制の確立、以上の高齢者対策と妊産婦・子育て世帯対策について3点ずつ要望しました。



市民生活常任委員会 上下水道インフラについて

上下水道インフラは、料金収入の減少、施設の老朽化の進行、物価高騰に伴うコストの増加など、さまざまな課題があることから、将来を見据えた持続可能な事業運営に向けた調査を進め、「安心・安全で持続可能な上下水道インフラに向けた報告書」を提出しました。各施設の計画的な点検・調査及び更新を着実に実施すること、適正な料金設定について中長期的な視点に立った検討を行うこと、官民連携の活用を含めた経営の効率化に向けた調査・研究を進めること、先進技術の活用に向けた調査・研究を継続的に行うことを期待しています。



まちづくり・交通対策特別委員会 地域公共交通の在り方について

今般の高齢者の免許返納増加や運転士不足などによる公共交通の課題を受け、「公共交通の在り方に関する要望書」を執行部に提出しました。
市民の移動利便性確保と将来にわたるバス交通を維持するため、①路線バスおよびコミュニティバス「toco(トコ)」の機能分担の明確化と共存体制の検討②tocoバスの柔軟な循環形態と利便性の向上③運転士確保支援と民間事業者との連携強化④新モビリティ導入とMaasなどの交通DXの調査・研究、以上の4点を市に要望しました。

